

## 特許分類検索における情報支援の研究

木村 剛久

特許の主題検索には、キーワードだけではなく、国際特許分類（IPC）や日本国特許庁の FI（file index）、F ターム等の特許分類を用いることができる。しかし、キーワード検索については多くの資料が参考になるが、特許分類検索については資料によって内容および詳しくさが異なり、必要に応じて複数の資料を利用しなければならない。特許分類検索に必要な知識と、その知識が書かれている資料のリストが一か所にまとめられていれば、特許分類検索の理解に役立つと考えられる。

本研究では、一般技術者が特許分類検索に関する知識を獲得できるようにすることを目的に、特許分類検索に必要な知識ごとに適切な資料への案内を示し、説明が足りていない点については補足的な説明を提供する、学習ガイドを提案した。

はじめに、図書、Web サイト、検索システムのマニュアルおよび IPC 指針の、合計 13 の資料から特許分類検索に関する 132 個の記述を抽出した。抽出結果をもとに特許分類検索に必要な知識を整理して、「IPC を使用した特許の検索方法」と「IPC の分類記号の検索方法」に分けて案内項目リストを作成した。個々の案内項目を内容別に整理するために、大項目を作成した。「IPC を使用した特許の検索方法」の 29 個の案内項目に対して 10 個の大項目を設定し、「IPC の分類記号の検索方法」の 15 個の案内項目に対して 3 個の大項目を設定して、案内項目リストを作成した。さらに、案内項目ごとに案内先を決定し、案内情報として資料へのリンクと記述箇所へのリンクを提供することにした。また、案内する資料が複数ある場合は、案内項目ごとに、案内する資料の優先順位を決定した。

試作した学習ガイドのトップページからは、「IPC を使用した特許の検索方法」「IPC の分類記号の検索方法」「検索システムへのリンク」を選択できるようにした。「IPC を使用した特許の検索方法」「IPC の分類記号の検索方法」のどちらかを選択し、大項目、案内項目の順に選択すると、案内情報の提供ページに進む。案内情報の提供ページに表形式で表示される資料名、記述箇所へのリンクおよび資料の概要を参照して、目的にあった資料の情報を知ることができる。また、次の案内項目に関する案内情報の表示、案内項目を選択するページに戻る、トップページに戻る、選択肢も作成した。次の案内項目に関する案内情報の表示へ進む場合には、直前の案内項目で案内した資料と同じ資料を、次の案内項目において優先して案内することを選択できるようにした。

本学習ガイドには、案内先とする資料の更新に対応する方法の検討などの課題が残されているが、特許分類検索に必要な知識を一か所にまとめて、知識ごとに案内情報を提供することにより、一般技術者は案内項目のリストを利用して調べる内容を自ら選択し、どの資料を利用すればよいかを知ることができるようになった。

(指導教員 岩澤まり子)